



【遠い 遠い日、こんなにしてもらっていたに違いない僕も、今ここにいる……】

通勤途上の広場で開かれている移動興業の夜店である。

この興業の話はここでも紹介したことがある。

その夜店が久しぶりにやってきたのだ。

遠くからでも見えると派手な光、そして響き渡る音楽に誘われ、車を降りて、覗いてみた。

トランポリンやメリーゴーランド、小型ながらも、観覧車もある。

子供達が嬌声をあげる。

おとぎ話の電車が走る。

お父さんの膝に自慢げに座る僕。

胸にわが子の体温をしっかりと感じながら、やさしく抱きよせる。

日雇い労働者や低所得者が多く住む住宅地。

今宵、何もかも忘れて一緒に遊ぼう。